

第2回三重がん・生殖医療セミナー

近年のがん治療成績の向上に伴い、若年がんサバイバーが増加し、治療後の不妊に悩む方も増えております。三重県でも三重大学が中心となり、2017年から若年がん患者様を対象とした妊孕性温存療法を行っております。昨年好評であった本セミナーを、第2回として「小児がん」をテーマに企画致しました。講演会・パネルディスカッションを行い、知識の向上のみならず、多職種との意識の共有・連携等を図ることを目的としております。医師だけではなく、看護師、薬剤師等の多くの医療従事者の参加をお待ちしております。



日時：2019年8月3日（土）

場所：三重大学 三翠ホール（大ホール・小ホール）

三重県津市栗真町屋町1577 TEL：059-232-1111（代）

プログラム

- 9:30～9:35 開会の辞 三重大学医学部附属病院産科婦人科学教授 池田智明先生
- 9:35～9:40 三重県子ども・福祉部 次長 挨拶 中山恵理子先生
- 9:40～10:30 座長：三重大学医学部小児科学教授 平山雅浩先生
「小児がん医療体制整備の現状と課題」 国立成育医療研究センター 松本公一先生
- 10:30～11:20 座長：三重大学医学部乳腺外科教授 小川朋子先生
「小児がんの晩期合併症について」 日本医科大学名誉教授 前田美穂先生
- 11:30～12:20（共催：富士製薬工業株式会社） 座長：三重大学医学部整形外科講師 浅沼邦洋先生
「小児・AYA世代がん患者の長期フォローアップと妊孕性温存」 大阪大学 小児科 三善陽子先生
- 12:30～13:30（ランチョンセミナー：共催 あすか製薬株式会社） 座長：三重大学医学部附属病院がんセンター 中瀬一則先生
「がん・生殖医療の現在の課題—さらなる啓発に向けて—」 聖マリアンナ医科大学産婦人科教授 鈴木 直先生
- 13:40～14:40 座長：三重大学病院薬剤部准教授 岩本 卓也先生
「子どもと家族に寄添う支援～チャイルド・ライフの視点から～」 名古屋大学医学部附属病院 CLS 佐々木美和先生
- 「不妊症をどう生きるか」 がんサバイバー・信州大学・小児科医 盛田大介先生
- 15:00～16:30 パネルディスカッション「三重大学病院としての小児がん患者への取り組み」
司会：三重大学医学部産科婦人科教授 池田智明先生
- 16:30～16:35 閉会の辞 三重大学医学部小児科学教授 平山雅浩先生

※本研究会は下記の単位に認定されております。
日本専門医機構 学術業績・診療以外の活動実績（学術集会参加）1単位
日本専門医機構 産婦人科領域講習 1単位
がんプロフェッショナル養成プラン推奨セミナー
三重大学大学院セミナー
日本産科婦人科学会専門医研修会 10単位
日本産婦人科医会研修会
日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位（4単位）申請中
日本薬剤師研修センター研修単位（4単位）申請中
当日は参加費として500円徴収します。

※本セミナーは事前登録制です。
下記または裏面のFAXでお申し込みください。



<https://goo.gl/forms/M0zcQzxGecba4PIG3>

お手元のスマートフォンからアクセスしてください。

共催：三重がん・生殖医療ネットワーク、三重県産婦人科医会、三重大学産科婦人科学教室
後援：三重県、三重大学病院がんセンター、三重県病院薬剤師会、小児がん拠点病院

